

# 放射線から子どもと区民を守ろう

## 代表質問

### 防災に強い北区を

#### 原発ゼロ、核兵器廃絶を国に求めよ

9月12日、代表質問にたった本  
田正則議員は、東日本震災の被害  
状況をふまえ、北区でも防災対  
策に万全を期すよう求めました。

#### 耐震改修助成引き上げ 液状化・斜面地対策を

北区では10年間で2万2500  
戸の住宅耐震化を進める計画に対  
し、実績は5年半で1000戸以下



本会議で代表質問する本田正則区議

と、大きくかけ離れています。

本田議員は、現行23区で最低の  
木造住宅の耐震改修助成の限度額  
50万円を引き上げ、簡易改修にも  
助成すること、住宅リフォーム助  
成制度を来年度も継続して実施す  
ることを求めました。さらに、震  
災時の液状化や造成地の地盤対策  
についても、提案しました。

また、3・11の大地震では北区  
でも多くの帰宅困難者が生まれた  
ことから、保育園や教育施設、介  
護施設などでの対応を強化するこ  
とを求め、区の姿勢を質しました。

福島第一原発事故を受けて、北  
区が「原発ゼロ」を促進する立場  
に立つこと、核兵器廃絶に向けた  
とりくみをさらに強化することを  
強く求めました。



9月19日、明治公園で「さようなら原発集会」が開かれました。6万人が集い、街をパレードしました。

## 北区が放射線の除染対策を実施 党区議団や区民の「放射線測定運動」の成果

日本共産党北区議団は区民  
と連携し、区内の放射線量測  
定を実施し、ホットスポット  
の確認と除染などの対策を実  
施するよう区に要請を重ねて  
きました。

どの子ども施設を中心に、1  
施設5カ所の測定を11月下旬  
をめどに実施、対策基準を超  
えた場所については順次、洗  
浄、土の入れ替えなどの除染  
対策をおこなっています。

続き、晩発性の健康被害が心  
配されている」と追及し、こ  
の間、区の答弁でくり返され  
た「市場に回収されている食  
材は安全が確認されている」

これに対し、区は「今後も  
国の動向も注視していく。情  
報収集に努め、庁内での検討  
はすすめてゆく」などと答え  
ました。

### 食品の安全に 万全の対策を

これにこたえ、北区は学校  
や保育園、公園等の測定を実  
施し、区のホームページでも  
測定値を公表。時間あたり0.  
25マイクロシーベルトを北区  
の除染対策基準とし、10月上  
旬には、たきさん幼稚園など  
区の測定で基準を超えた3地  
点について、除染対策を実施  
しました。

さらに党区議団は、第3定  
例会の本会議質問や決算委員  
会を通じて「空間放射線によ  
る外部被ばくとともに、食物  
などから体内に放射性物質を  
とりこむ内部被ばくが問題。  
低線量でも長時間の被ばくが



### 内部被ばくから 子どもを守ろう

10月11日、北とぴあで開かれ  
た党議員団主催の学習講演会。  
松井英介岐阜環境医学研究所長  
は、食物などを通じた内部被ばく  
の危険性を訴えました。

ご相談はお気軽に  
日本共産党北区議員団  
tel.3908-7144  
fax.5993-0280

**宇都宮 章**  
神谷3-10-8-401  
090-4127-7550

**さがらとしこ**  
赤羽北3-23-17  
3905-0970 (事務所)

**ながいともこ**  
浮間3-1-54-302  
080-4429-6338

**のの山けん**  
岩淵町22-31-401  
090-2156-3510

**福島 宏紀**  
豊島5-4-1-618  
090-1206-6925

**本田 正則**  
田端3-4-12-305  
090-9240-8066

**八百川 孝**  
東十条5-1-9-101  
090-6798-2153

**やまき直人**  
滝野川2-34-4-201  
3917-9827

**山崎たい子**  
豊島7-19-10  
090-2160-1292

# 「財政が厳しい」と、 区民にがまん押しつけ

2010年度  
決算審査

日本共産党は、一般会計および  
国保・後期高齢の2特別会計の認定に反対

## 実質収支は毎年黒字

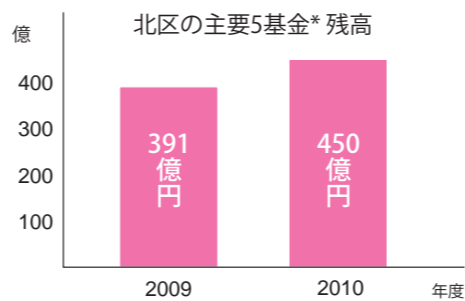
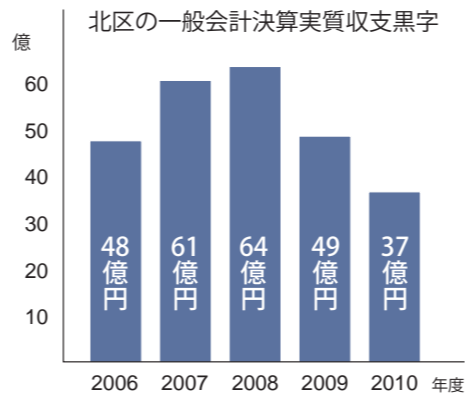
# 積立金は 過去最高 450億円に

のの山けん区議は10月7日の区議会最終本会議で、2010年度決算認定の反対討論に立ちました。

反対理由の第1は、順調に基金を積み増しながら「財政が厳しい」と必要な区民サービス拡充に消極的な財政運営のあり方です。ことさら財政の厳しさを強調する北区ですが、実際は実質収支で黒字続き。昨年度は37億円もの剰余金が



反対討論する、のの山区議



\*財政調整基金、減債基金、施設建設基金、まちづくり基金、学校改善基金

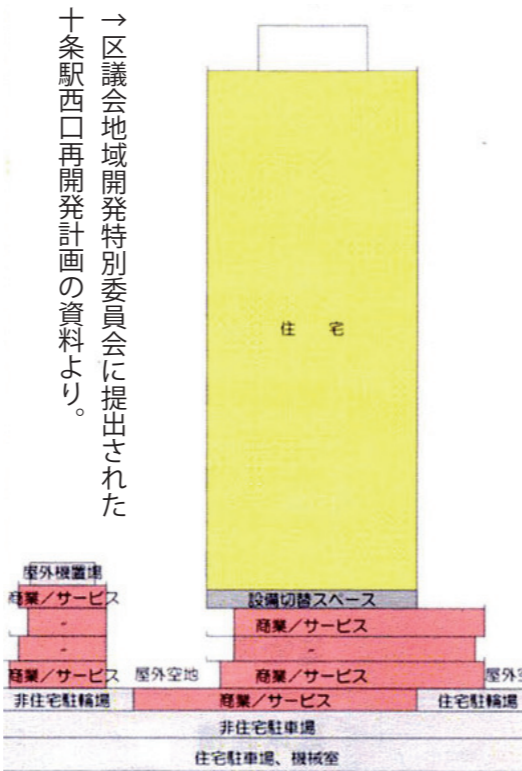
生まれました。さらに主要5基金の積立金は、過去最高の450億円に(グラフ参照)。財源があるのに、区民にはがまんを強いるのは本末転倒です。第2は、破たんした構造改革路線にしがみつき、「経営改革プラン」を至上命題

として外部化路線を押し進めようしている姿勢です。これまでも職員の大量退職やコンプライアンス欠如など、北区で民間まかせの矛盾が露呈しています。指定管理者制度の矛盾が全国に広がり、政府自身が「集中改革プラン」の解除を指示しているのに、北区には真剣な総括も反省もありません。日本共産党は、保険料引き上げとなった国保、後期高齢者医療の各特別会計の認定にも反対しました。

## 立地示さぬまま基本構想 146m、37階の超高層計画

区役所新庁舎  
十条駅西口再開発

11月1日、北区新庁舎建設基本構想検討会は、花川区長に対し「基本構想(案)」を答申。今後、パブリックコメントをふまえて、年度内に基本構想が決定されます。北区は「立地が決まらないまま基本構想を策定するのは異例」としながら、いまだに候補地の検討状況すら公開していません。日本共産党は、すみやかに候補地を示すことや「まちかどトール」などで区民に情報を公開することを求めています。一方、十条まちづくりでは、高さ146m、37階の超高層分譲マンションを中心とする十条駅西口再開発計画が、9月14日の地域開発特別委員会に示されました。日本共産党は決算特別委員会で「十条らしさをふまえた街並みに配慮し、超高層は見直すべし。高齢者や若者が住み続けられるよう最大の地権者である北区がインシアティブの發揮を」と求めました。



→区議会地域開発特別委員会に提出された  
十条駅西口再開発計画の資料より。

## 長生きを本気で支援する施策を 全高齢者 実態調査 回答は7割超に

日本共産党は、遅れた北区の高齢者施策の改善と拡充を求めてきました。この間、北区が実施してきた「高齢者実態把握調査」は、

10月末現在で回答が7割を超えました。高齢者の活動・交流の場を広げたり、相談や介護予防をすすめる地域包括支援



特養ホーム・桐ヶ丘やまぶき荘の喫茶ルームにて

センターの増設や職員の増員は、待ったなしです。介護保険も来年4月から5期目の事業計画となり、特養ホームや老健施設の増設、介護職員の増員と待遇改善も進めなければなりません。日本共産党北区議員団は今回の調査を生かし、新年度予算要望で、高齢者施策の思い切った推進のための提案をおこなっています。

## 肺炎球菌接種に 3500円の助成

65歳以上の方が受ける肺炎球菌ワクチンの予防接種に、この11月より3500円が助成されることになりました。日本共産党は、議会質問や毎年の予算要望で、助成の実現を求めてきました。

日本共産党北区議員団 連続学習講演会

## 隠された 内部被ばくの危険

11月23日(祝)午後1時30分開会

赤羽会館大ホール

講師 矢ヶ崎 克馬氏

(琉球大学名誉教授)



保育あり。お問い合わせは、  
☎ 3908-7144 日本共産党北区議員団へ